

統計だより

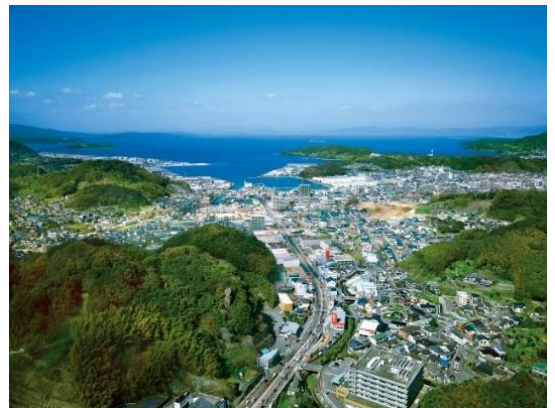
県内各市町の統計所管課だより(その14 時津町)

時津町総務部企画財政課 西嶋 智子

【時津町の紹介】

時津町は、北は大村湾に面し、南部から西部にかけては長崎市、東部は長与町に接しており、面積が 20.94km²と県内で最もコンパクトな町です。町の中心部に国道 206 号・国道 207 号が走り、内陸交通の要衝の地となっています。また、長崎空港とは高速船により約 25 分で結ばれており、海からの玄関口にもなっています。

本町は、交通の要衝として発展してきた歴史があり、まんが日本昔ばなしの題材となった「鯖くさらかし岩」や江戸時代に大名達の休息所となった「茶屋(本陣)」、長崎街道の近道として多く利用された「時津街道」などの史跡や名所があります。

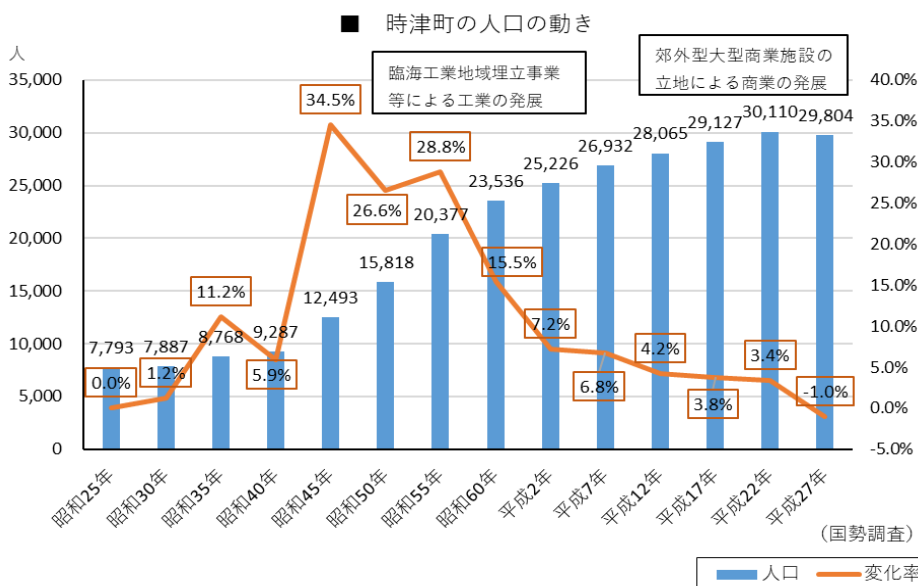


<時津町の発展>

本町は、昭和 26 年 12 月 1 日に町制を施行してから、今年で 70 周年を迎えます。

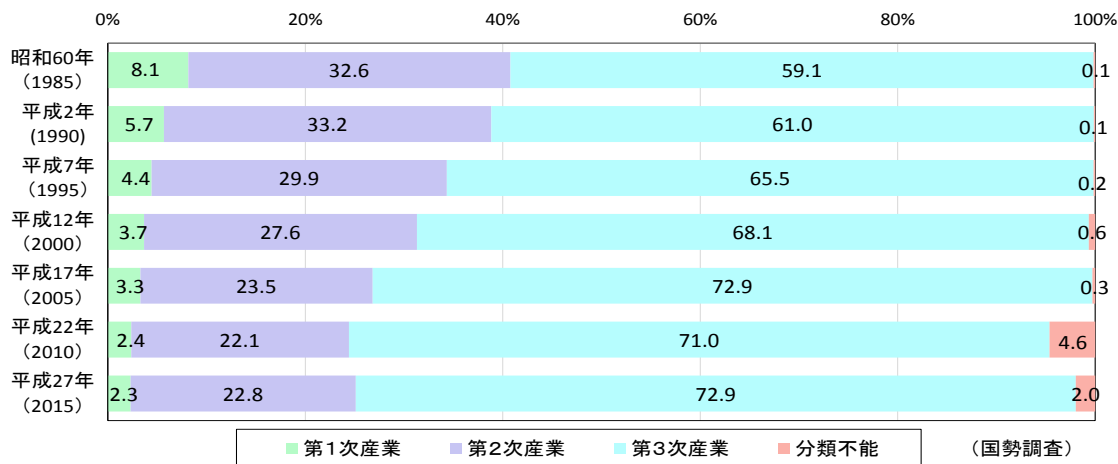
町制施行以降、昭和 41 年から始まった臨海工業地域の埋立事業、昭和 44 年の長崎都市計画区域への指定等により、長崎市のベッドタウンとして、また、工業のまちとして発展してきました。近年は、郊外型の大型商業施設の立地等により、商工業のまちとしての性格が強くなっています。

町制施行時に約 7,800 人だった人口は、この 70 年間で、産業の発展とともに約 3.8 倍に増えました。しかし、平成 22 年度まで増加傾向にあったものの、若者の県外への転出超過などから、平成 27 年は減少に転じています。



ここ 30 年の産業別就業者構成比の推移をみると、第 1 次産業は減少が続き、平成 27 年には 2.3% となっています。第 2 次産業は平成 2 年をピークに減少が続きましたが、平成 27 年には若干増加し、22.8% となっています。一方、第 3 次産業は増加傾向で推移し、平成 27 年には 72.9% となっています。平成 27 年国勢調査では、最も就業者数の多い産業は「医療、福祉」であり、次いで「卸売業、小売業」、「製造業」となっています。近年では、商工業に加え、高齢化に伴う医療・福祉分野の就業者数の増加が顕著です。

■ 産業3分類別就業者構成比の推移



<時津町の魅力発信>

多くの商業施設や工場、医療機関が立地し、必要なものは町内で何でも揃えることができる本町は、小さな都会としての利便性と、山と海のすぐそばで暮らせることから、民間による令和 2 年の居住満足度調査で県下 1 位になるなど、「住みよいまち」として高い評価をいただいています。子どもがのびのびと遊べる場所が多く、子育て支援も充実しており、特に子育て世代にオススメです。

現在、本町では、交流人口を増やし、さらなる地域活性化を進めるため、町の様々な魅力発信を行っております。ここでは紹介しきれませんので、下記 QR コードから観光情報サイトをご覧ください、お友達と、またご家族で、時津町へぜひ遊びにお越しください。

観光情報サイト「時を楽しむ時津町」
スペシャルムービー、あります。



初心者でも挑戦しやすい
「鳴鼓岳」



大村湾を一望 桜も楽しめる
「崎野自然公園」



「落ちない岩」で合格きがん奇岩
「鯖くさらかし岩」(継石坊主)